

まちづくりは人づくり

市長 米本 弥一郎



新年度を迎え、20周年という記念すべき年がスタートしました。これまでのまちづくりにご尽力をいただきました皆さまに感謝し、この一年を次の10年、20年に向けた礎となる年にしたいと考えています。

4月には、22人の新人職員を迎えました。全国的に人手不足が叫ばれる中、旭市役所を志望してくれたことを大変うれしく思います。「第3期旭市総合戦略」に掲げたウェルビーイングの向上を目指し、新しい職員が「チーム旭」の一員として、大きな力となることを期待します。

本市の将来を担う若い職員の成長には、上司や先輩の指導はもとより、市民の皆さまとの触れ合いや現場での経験がとても大切です。皆さまにも、若い職員の育成にご協力いただければ幸いです。

市内の小・中学校では、小学校に

378人、中学校に493人が新たに入学しました。入学式での子どものたちの弾ける笑顔や少し緊張した表情が、とても印象的でした。新入生に心よりエールを送るとともに、私たちもその成長を支えていかなければならないと感じたところです。

本年度から始まった「第3期旭市の教育に関する大綱」では「郷土夢未来、郷土を愛し夢に向かって歩み続け 未来を拓く人づくり」を基本理念とし、この大綱に沿って教育をより充実させてまいります。また、学校給食費の完全無償化や新設した「こども家庭課」の運営、さらに今後は、市内の小児科不足への対応などにも取り組んでまいります。

「まちづくりは人づくり」でもあります。次代を担う子どもや若者たちを、市全体がチーム一丸となって応援していきます。